

## 計算書類に対する注記(法人全体用)

1 継続事業の前提に関する注記  
該当なし

2 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

- ・総平均法に基づく原価法により評価

(2)固定資産の減価償却の方法

【有形固定資産】

建物(基本)、建物、構築物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品

○平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産

- ・定額法による
- ・残存価額は0円(備忘価額1円)

○平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産

- ・旧定額法による
- ・残存価額は取得価額の10%(備忘価額1円)

【リース資産】

有形リース資産、無形リース資産

○所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・リース期間を耐用年数とする定額法による
- ・残存価額は0円

(3)引当金の計上基準

○退職給付引当金

- ・社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会の愛媛県民間社会福祉事業従事者退職共済支援事業の事業主負担金を毎月計上

○賞与引当金

- ・令和6年3月在籍職員を基準とした6月賞与分を4か月計上

3 重要な会計方針の変更  
該当なし

4 法人で採用する退職給付制度

(1)独立行政法人福祉医療機構 社会福祉施設職員等退職手当共済事業

(2)社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会 愛媛県民間社会福祉事業従事者退職共済支援事業

5 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1)法人全体の計算書類(会計基準第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2)事業区分別内訳表(会計基準第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では社会福祉事業しか実施していないため作成していない。

(3)社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

(4)公益、収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では公益、収益事業を実施していないため作成していない。

(5)各拠点区分におけるサービス区分の内容

①泉荘拠点区分

②いこいの里しみず拠点区分

③日高荘拠点区分

ア 特別養護老人ホーム日高荘

イ 短期入所生活介護日高荘

④唐子荘拠点区分

ア 特別養護老人ホーム唐子荘

イ 短期入所生活介護唐子荘

ウ デイサービスセンター唐子荘

⑤ぱりっこ保育園拠点区分

- ⑥ひよこ園拠点区分  
 ア 障害児通所支援事業ひよこ園(ひよこ園事業)  
 イ 障害児通所支援事業ひよこ園(ひよこ学級)  
 ウ 障害児通所支援事業ひよこ園(ほのぼの学級)
- ⑦今治育成園拠点区分  
 ア 障害者支援施設今治育成園(施設入所支援)  
 イ 障害者支援施設今治育成園(生活介護)  
 ウ 短期入所今治育成園  
 エ グループホームさぎそう  
 オ グループホームまきば
- ⑧今治療護園拠点区分  
 ア 障害者支援施設今治療護園(施設入所支援)  
 イ 障害者支援施設今治療護園(生活介護)  
 ウ 障害者支援施設今治療護園通所(生活介護)  
 エ 障害者支援施設今治療護園通所(機能訓練)  
 オ 短期入所今治療護園
- ⑨今ねっと拠点区分  
 ア 障害者生活支援事業今ねっと  
 イ 一般相談支援事業今ねっと  
 ウ 特定相談支援事業今ねっと  
 エ 障害児相談支援事業今ねっと
- ⑩ときめき拠点区分  
 ア 地域活動支援センターときめき  
 イ 一般相談支援事業ときめき  
 ウ 特定相談支援事業ときめき
- ⑪のぞみ苑拠点区分  
 ア 今治市障害者福祉センターのぞみ苑  
 イ 小規模作業所のぞみ苑
- ⑫本部拠点区分

## 6 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位 円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地(基本)	320,692,638	0	0	320,692,638
建物(基本)	2,002,497,361	4,917,000	95,917,636	1,911,496,725
定期預金(基本)	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	2,324,189,999	4,917,000	95,917,636	2,233,189,363

## 7 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し 該当なし

## 8 担保に供している資産

担保の供されている資産は以下のとおりである。

泉荘	建物(基本)	114,790,483円
いこいの里しみず	建物(基本)	862,363,263円
合計		977,153,746円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む。)	341,795,000円
------------------------	--------------

## 9 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物(基本)	3,765,722,183	1,854,225,458	1,911,496,725
小計	3,765,722,183	1,854,225,458	1,911,496,725
その他の固定資産			
建物	39,588,177	37,073,034	2,515,143
構築物	76,313,328	16,560,220	59,753,108
機械及び装置	11,180,425	11,180,410	15
車両運搬具	88,615,767	81,183,797	7,431,970
器具及び備品	391,505,529	299,201,119	92,304,410
有形リース資産	6,457,980	2,389,640	4,068,340
小計	613,661,206	447,588,220	166,072,986
合計	4,379,383,389	2,301,813,678	2,077,569,711

## 10 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位 円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	225,608,742	0	225,608,742
未収金	20,640,460	0	20,640,460
未収補助金	9,711,737	0	9,711,737
合計	255,960,939	0	255,960,939

11 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし12 関連当事者との取引の内容  
該当なし13 重要な偶発債務  
該当なし14 重要な後発事象  
該当なし15 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け  
該当なし16 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし